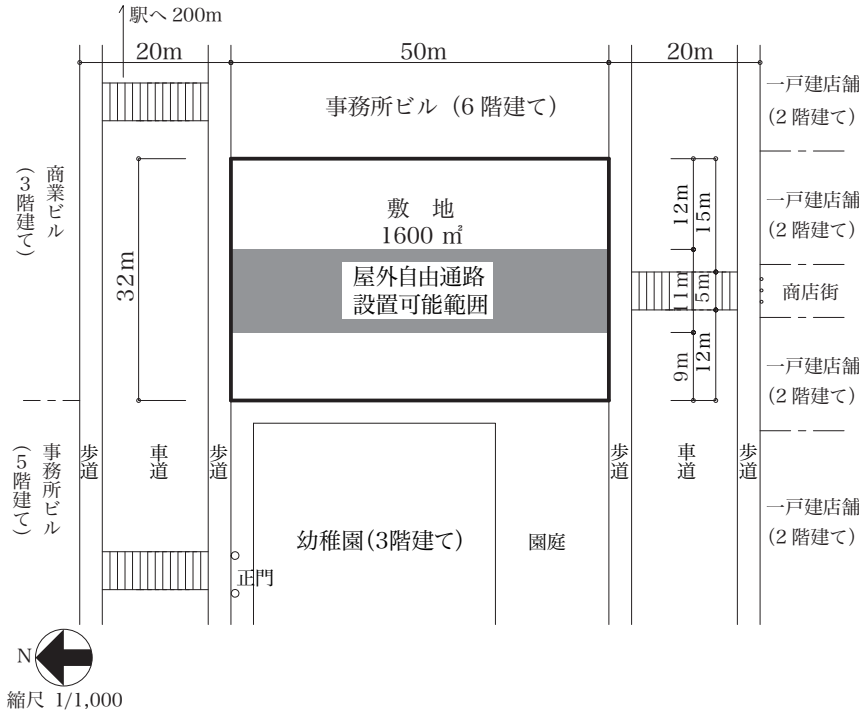


I. 設計条件

この課題は、ある地方都市の中心市街地において、基準階に一般事務用貸スペース、1階に展示用貸スペース等のある貸事務所ビルを計画するものである。
 なお展示用貸スペースは、地域で盛んな木工産業の製品、及び美術品を常時展示する予定となっている。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は80%、容積率の限度は400%である。なお、日影についての特別の考慮はしなくてよい。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好で、杭打ちの必要はない。
- 気候は温暖で、積雪についての特別の配慮はしなくてよい。



縮尺 1/1,000

2. 建築物

- 構造・階数等
構造種別は自由とし、地上6階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は4800㎡以上、5300㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- レントラブル比
ビル運営上の理由から、建物全体のレントラブル比は75%以上となるよう計画する。なお、賃貸部分の対象は、貸事務所、貸展示室、コーヒーストックとし、レントラブル比算定の母数は床面積の合計とする。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	設置階	室名	特記事項	床面積
貸事務所部門	2～6階(基準階)	貸事務所	・必要に応じ、2室に分割し個別に利用できる。	適宜
	2～6階(基準階)	その他	・休憩コーナー、湯沸室、倉庫等を設ける。	適宜
	1階	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・ポストコーナー、応接コーナーを設ける。	適宜
貸展示スペース	1階	貸展示室	・荷解室を設ける。 ・事務コーナーを設ける。 ・荷解室、事務コーナーを除く部分の天井高さは3m以上とし、直径8mの円が1つ入る無柱空間とする。 ・必要に応じ空調室を設ける。	約160㎡
共用・管理部門	1階	コーヒーストック	・外部、又は屋外自由通路から直接アプローチできる。 ・カフェテラスへ直接行き来できる。	約100㎡
	1階	守衛室	・建物全体の管理を行う。 ・貸事務所来訪者の案内を受け付ける。 ・夜間における貸事務所部門の出入りを管理する。	適宜
	適宜	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、電気・機械室、屋外機器置場等計画する。	適宜

・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。
 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。

3. その他の施設等

- 屋外自由通路(南側道路と北側道路を結ぶ屋外の通路をいう。)は、次のとおり計画する。
 - 地上に設け、常時通り抜けができる通路(最小幅員を4mとし、建築物を通り抜ける部分はピロティ形式。)とする。
 - 敷地の屋外自由通路計画可能範囲(■で示す。)内に計画する。
- カフェテラスは、次のとおり計画する。
 - 地上に設け、まとまったスペースで、20㎡以上とする。
 - コーヒーストックと直接行き来できる。
- 地上に設ける駐車場は、車いす使用者用(幅を3.5m以上とする。)を1台分、サービス用として2台分、一般客用として7台分を設け、平面駐車とする。
- 貸展示室への搬入車両用にサービスヤード(約60㎡)を設ける。
- 駐輪場は、利用客用として10台分(1台当たり0.5m×2.0m程度)を設ける。
- ごみ置場(約6㎡)を設ける。
- (1)～(6)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 貸事務所部門、貸展示スペース部門、共用・管理部門の異なる機能を適切にゾーニングするとともに、各部門の動線に配慮する。
 - 建築物の機能性、快適性を確保し、収益性にも配慮する。
 - 地域の利便性、活性化に貢献するとともに、近隣環境にも配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - 耐力壁等を設け、耐震性に配慮する。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備、エレベーター等を適切に設ける。
 - 環境負荷低減に配慮する。

II. 要求図書

答案用紙I及び答案用紙IIの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Iに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	① 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)を記入する。 ② 室名等を記入する。 ③ パイプシャフトの位置を図示し、PS、EPSと記入する。 ④ 主な設備機器の位置を点線で図示する。 ⑤ 「耐力壁等」には▲印を図示する。 ⑥ 貸事務所、貸展示室、コーヒーストック、カフェテラスの面積を記入する。
(2) 基準階平面図(2～6階) 1/200	⑦ 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 断面図の切断位置 ロ. 建築物の出入口 ハ. 屋外自由通路(南側道路から北側道路までを□□□□で明示する。) ニ. 駐車場(台数及び出入口を明示する。) ホ. 駐輪場(台数を明示する。) ヘ. ごみ置場 ト. 通路、植栽等 ⑧ カフェテラスには椅子、テーブル等を記入する。 ⑨ 基準階平面図には、次のものを図示する。 イ. 1階の屋根(ある場合のみ)、ひさし等 ロ. 3階以上の階にある非常用進入口、またはそれに代る開口
(3) 基準階梁伏図 1/200	① 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号・部材・断面寸法を追加記入する。
(4) 断面図 1/200	① 切断位置は、貸展示室、及び貸事務所を含むものとし、建築物の全体の立体構成(1～6階)がわかる断面とする。 ② 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ③ 梁及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表(答案用紙Iに記入)

各階の床面積、その合計、建ぺい率、及び賃貸部分のレントラブル比を記入する。なお、各階の床面積、建ぺい率、及び賃貸部分のレントラブル比については、その算定式も記入する。(算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)

3. 計画の要点等(答案用紙IIに記入)

- 建築計画について、次の①～④の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 各部門へのアプローチ動線について工夫したこと
 - 建築物の収益性について工夫したこと
 - 地域の利便性、活性化について工夫したこと
 - 近隣環境に配慮して、建築物において工夫したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述し、③については簡易な図示を行う。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物に採用した構造種別と採用した理由
 - 耐震計画について工夫したこと
 - 採用した構造種別において、1階柱、及び2階床梁の標準断面を図示する。
- 設備計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 採用した空調方式とその理由
 - 1階、基準階、及び屋上その他に設置する主な機器名(エレベーター、衛生陶器、通常換気扇、照明、弱電設備機器については記入しなくてよい。)

試験場	受験番号	氏名